

調査研究委員会レポート

◆調査専門委員会および協同研究委員会 委員の公募◆

委員会名 【技術委員会】	家庭等における情報通信システムおよび機器のエネルギー効率化技術動向調査専門委員会 【産業電力電気応用技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要， 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成 20 年 10 月～平成 23 年 9 月	家庭等における機器のネットワーク化、各種機器の省エネルギー・エネルギー有効利用技術に着目し、情報家電やデジタル I C などの普及による各種機器の制御性の容易化、HEMS や人感センサと照明の連動などによるトータルなエネルギー削減、削減目標達成に向けたクリーンエネルギー普及促進の加速化などを調査する。	
委員長名（所属）	谷内 利明（東京理科大学）		
委員会開催頻度	6 回／年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名（所属）		大津 智（NTT ファシリティーズ）
	電話		06-6446-8847
	FAX	06-6446-8672	
	E-mail アドレス	ohtsus22@ntt-f.co.jp	
応募いただきたい方の 専門分野，経験など	ネットワーク、放送、データ通信や情報通信機器の研究開発。または、上記分野にかかるエネルギー供給、消費に関する研究開発。		
応募締切	平成 21 年 5 月 31 日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		0 円／年	

委員会名 【技術委員会】	測位による地理空間情報の高度活用 協同研究委員会 【産業システム情報化技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要， 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成 20 年 10 月～平成 22 年 9 月	安全安心な生活実現する地理空間情報の活用のため、①地理空間情報の整備・共用方法、②シームレスな衛星・屋内測位を実現する測位システムの課題、③災害復旧での測位と地理空間情報の運用、④測位、地理空間情報の活用のあり方について調査する。	
委員長名（所属）	海老沼 拓史（東京海洋大学）		
委員会開催頻度	4 回／年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名（所属）		岡本 修（茨城工業高等専門学校）
	電話		029-271-2939
	FAX	029-271-2939	
	E-mail アドレス	okamoto@ss.ibaraki-ct.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野，経験など	測位，衛星測位，屋内測位，地理空間情報，災害復旧		
応募締切	平成 21 年 5 月 31 日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		0 円／年	

委員会名 【技術委員会】	OKINAWA 型ロボット・組み込みシステム 協同研究委員会 【産業システム情報化技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要， 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成 20 年 10 月～平成 22 年 9 月	OKINAWA 型産業振興プロジェクトに協賛し、「沖縄ならではの」新事業創出やイノベーションを促進のため、ロボットおよび組み込み技術分野における研究会を開催し、技術情報の交換および研究開発人材の育成・研鑽をはかる。	
委員長名（所属）	姉崎 隆（沖縄高専）		
委員会開催頻度	2 回／年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名（所属）		姉崎 隆（沖縄高専）
	電話		0980-55-4176
	FAX	0980-55-4012	
	E-mail アドレス	Anezaki@okinawa-ct.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野，経験など	沖縄の社会風土と自然環境に理解と関心を持ち、ロボット・組み込みシステムの研究開発に経験を有する方		
応募締切	平成 21 年 5 月 31 日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		0 円／年	

委員会名 【技術委員会】	高品質生活を達成する科学技術に関する協同 研究委員会 【産業システム情報化技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成20年10月～平成22年9月	本委員会の活動は、次の四つを軸とする。 1)これからの生活の質を高める内容の 調査研究 2)高品質生活を達成する科学、技術の調 査研究 3)高品質生活を継続できる生活法の調 査研究 4)高品質生活を啓蒙する活動法の調査 研究 これらを軸として、具体的な調査研究活 動を行う。	
委員長名(所属)	橋本 洋志(産業技術大学院大学)		
委員会開催頻度	4回/年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名(所属)		横田 祥
	電話		042-637-2111
	FAX		042-637-2111
	E-mail アドレス	yokota@bs.teu.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	知的活動、匠の技の伝承、高品質生活、生活科 学、高齢化社会の活性化、これらの教育・啓蒙 法とコンテンツ作成		
応募締切	平成21年5月31日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		0円/年	

委員会名 【技術委員会】	環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会 【リニアドライブ技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成20年10月～平成22年9月	磁気支持応用技術に関し、安心・安全や 快適性およびCO ₂ 排出量などの環境側 面的視点から以下の項目を調査し、体系 化を行います。 (1) 磁性材料と応用システムの解決す べき課題と解決手法 (2) 電気・機械連成系の解決すべき課題 と解決手法 (3) センサレス制御等先端的制御手法 とその適用目的 (4) ドライブ技術の解決すべき課題と 解決手法	
委員長名(所属)	森下 明平(東芝)		
委員会開催頻度	6回/年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名(所属)		長谷川均(JR東海)、大橋俊介(関西大学)
	電話		03-6711-9559, 06-6368-0824
	FAX		03-6716-1605, 06-6388-8843
	E-mail アドレス	hasegawa@rtri.or.jp, ohashi@ipcku.kansai-u.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	磁気支持の応用に関し、制御・制振・磁性材料・ 電磁力解析・駆動方式の分野で経験のある方		
応募締切	平成21年5月31日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		0円/年	

委員会名 【技術委員会】	ビル・工場電気設備の安全と 災害防止調査専門委員会 【生産設備管理技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成20年10月～平成22年9月	電気設備は何らかの欠陥を内在し、これ が稼働中に顕現化することにより事故 や障害が発生し人身事故、物的損失、生 産停止、生産効率低下等の事故・災害を 発生させる。電気設備のライフサイクル (LC)の各段階において下記を検討・ 対策し事故ポテンシャルを低くするこ とにより事故や災害を極小化すること を目的とする。 (感電災害、爆発・火災、各種の検討不 足、電源喪失、波及災害・二次災害、広 域災害、災害復旧時処理。)	
委員長名(所属)	市川 紀充(独)労働安全衛生総合研究所		
委員会開催頻度	6回/年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名(所属)		市川 紀充(独)労働安全衛生総合研究所
	電話		042-491-4512
	FAX		042-491-7846
	E-mail アドレス	Ichikawa@s.jniosh.go.jp	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	電力系統、高電圧工学、電気機器、制御、リス ク管理、安全工学、労働安全等		
応募締切	平成21年5月31日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		0円/年	

委員会名 【技術委員会】	地球環境問題に対応する最新のパワー半導体 スイッチング回路技術調査専門委員会 【半導体電力変換技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成20年11月～平成22年10月	進化する電力変換スイッチング回路技術の研究動向を調査すると同時に、地球環境対応として注目される電力変換回路技術の視点での調査、さらに高効率電力変換技術への変革につながる次世代パワー半導体に着目した調査を加えて、研究開発動向を把握する	
委員長名(所属)	大森 英樹 (パナソニック)		
委員会開催頻度	8回/年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名(所属)		住吉 眞一郎 (パナソニック)
	電話		077-561-5854
	FAX		077-561-9359
	E-mail アドレス	sumiyoshi.shinichiro@jp.panasonic.com	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	パワー半導体スイッチング回路技術、ソフトスイッチング技術、新素材半導体など新形パワーデバイスの研究開発		
応募締切	平成21年5月31日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		0円/年	

委員会名 【技術委員会】	鉄道における通信技術応用に関する 調査専門委員会 【交通・電気鉄道技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成20年10月～平成22年9月	通信技術の進歩は近年目覚しく、鉄道においても、駅構内、沿線各所、列車内など通信技術を必要とする状況が広範囲になってきている。 本調査専門委員会では、通信技術の鉄道への応用の観点からその動向を調査し、利用面の個々の要求を整理することにより新たな利用法の調査を行うことを目的とする。	
委員長名(所属)	佐々木 伸 (サイバー大学)		
委員会開催頻度	6回/年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名(所属)		関 清隆 (鉄道総合技術研究所)
	電話		042-573-7327
	FAX		042-573-7321
	E-mail アドレス	seki.iee@rtri.or.jp	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	鉄道の設備や車両ならびに通信技術に関する知識、経験		
応募締切	平成21年5月31日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		0円/年	

委員会名 【技術委員会】	鉄道車両用主回路機器の高性能化技術 調査専門委員会 【交通・電気鉄道技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成20年10月～平成22年9月	パワーエレクトロニクス技術、設計技術、材料技術等の進展により、鉄道車両用主回路機器は、小形軽量・省保守・省エネルギー等の高性能化が進んでいる。特に機器の高効率化・省エネルギー化は地球環境の観点からも注目を浴びている。 本委員会では主電動機、インバータ等主回路機器の省エネルギー化を中心とする高性能化技術を系統的に調査することを目的とする。	
委員長名(所属)	松岡 孝一 (東芝)		
委員会開催頻度	10回/年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名(所属)		近藤 稔 (鉄道総合技術研究所)
	電話		042-573-7287
	FAX		042-573-7409
	E-mail アドレス	min@rtri.or.jp	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	鉄道車両用主回路機器(主電動機、インバータ等)および主回路システム		
応募締切	平成21年5月31日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		0円/年	